

教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	同志社大学	申請分野(系)	人社系
教育プログラムの名称	研究センター連携型オープンフィールド教育		
主たる研究科・専攻名	文学研究科心理学専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取組実施担当者	(代表者)鈴木 直人		

[教育プログラムの概要]

1)本教育プログラムの大学全体としての位置づけ

本学は、現代的な課題に対応する機動的な研究組織としてこれまでに15の研究センターを立ち上げてきたが、その中で文学研究科心理学専攻においては、平成17年に「**こころの生涯発達研究センター**」と「**感情・ストレス・健康研究センター**」を設置した。この2つのセンターの特徴は、大学院学生もプロジェクト研究員として委嘱することである。これによって、大学院学生が自ら研究プロジェクトを立ち上げ、プロデュースすることによる大学院教育の実質化を図る体制が整えられた。本教育プログラムは大学院・研究センター連携方式を継承発展させる本学の大学院充実中期計画の一環として、全学的な支援体制のもと実施されるものである。

2)本教育プログラムを用いた大学院教育の全体像

この教育プログラムでは、従来の実績ある大学院教育システムと研究センターにおける「**オープンフィールドプロジェクト研究システム**」とを有機的に連携させる。オープンフィールドプロジェクト研究システムでは、研究センターに所属する国内外の研究者および医療や教育の現場で実践的活動を行う専門家とともに、大学院生が学際的かつ国際的な共同プロジェクト研究を行う。この連携により、学内における教育を、研究センターをインターフェイスとして学外での学際的な研修・研究と結びつける。このプログラムにより、社会のニーズに応じて専門的知識を活用する能力および学生が自ら研究プロジェクトを企画・実現してゆく能力を養成することが可能になる。さらに、外部機関での研修・研究成果を大学院教育にフィードバックすることを通じて、大学院教育システムのさらなる改革と発展も実現する。

3)教育プログラムの3つのフェイズ

フェイズ1:前期課程に対応し、学生を研究インターンシップとして実践的に参加させる。その成果は、大学院担当の専任教員全員が担当する「心理学体系論」の授業において報告される。

「心理学体系論」では、インターンシップ体験のための基礎的知識を伝授し外部機関との連携の円滑化を図り、後には授業での報告とレポート提出を通じた事後指導が行われる。この科目を通じて実践的な活動の全体像を把握させ、また従来からの専門科目において先端的かつ高度な専門知識を蓄積させる。

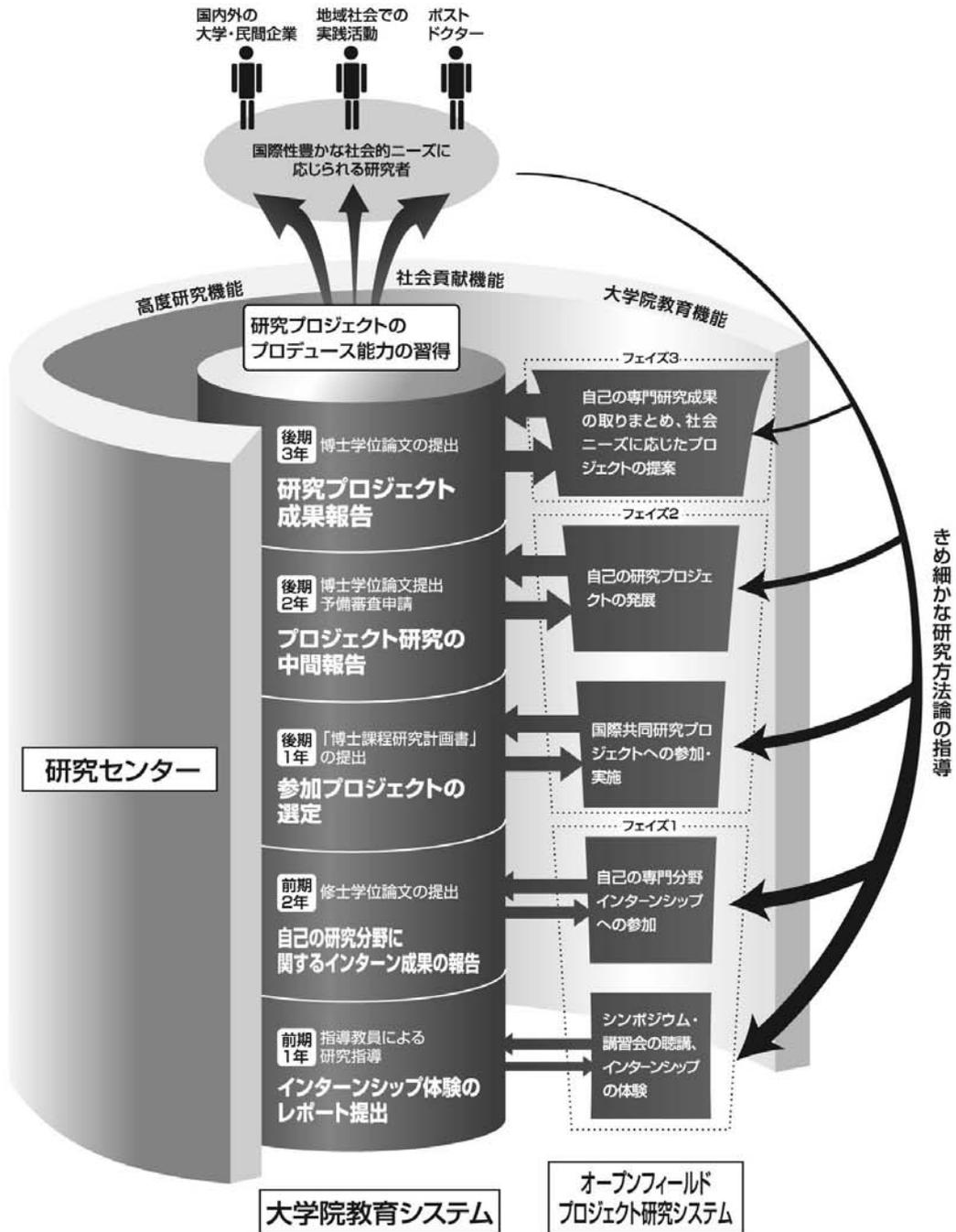
フェイズ2:後期課程1、2年次に対応し、学生を共同研究プロジェクト研究員として国際共同研究に参加させ、社会ニーズを視野に入れた学際的研究を自らプロデュースする能力を養わせる。

新たに設置する「プロジェクト科目」の授業において、共同研究プロジェクトの企画とマネジメントの状況を指導教員及び副指導教員がモニターし、実践的な活動の推進に必要なスキルを身につけさせる。さらに「心理学特殊研究」において、学生の研究テーマに関する専門的な指導を行う。

フェイズ3:後期課程3年次に対応し、学生に5年間の成果を博士論文としてまとめさせる。

博士論文の中には、学生が個人で行う研究だけでなく、自らがプロデュースした共同研究プロジェクトの成果を盛り込むことを義務づける。

履修プロセスの概念図（履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。）



<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、心理学の基礎研究と応用的な実践を融合しうる人材の育成という、社会のニーズに対応した人材養成目的が明確に掲げられており、それに沿った大学院教育システムが整備され、きめ細かな研究方法論の指導が志向されていることは評価できる。また、専攻独自の自己点検システムが導入され、それらの活動が学内ホームページで公開されている点も評価できる。

教育プログラムについては、専門性を深めつつ、実践的な力を付けさせ、多様化した問題に対応できる知識と技能を獲得させるという目標について、現代的な大学院教育として評価できる。そのために、「こころの生涯発達研究センター」、「感情・ストレス・健康研究センター」の2つの学内研究センターとの連携により、大学院生に自ら研究プロジェクトを企画・実現していく能力の育成を目指し、「オープンフィールドプロジェクト研究システム」との有機的な連携が図られている点は、目標の実現に貢献することが期待される。

ただし、「心理学体系」の内容とその効果、また研究センター教員と研究科の教員のアプローチに分かりにくさがあるので、実施にあたっての具体化が望まれる。